

## 「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーンにおける 本市の取り組みについて

### 1. DCの概要

デスティネーションキャンペーン（通称DC）は、JRグループ6社と地域（地方公共団体・住民・企業など）が協働で取り組む国内最大規模の観光キャンペーン。

DCに向け地域では、観光資源の掘り起こしや磨き上げなどを行い、また、JRにおいては、全国主要駅での集中的な広告宣伝やプロモーション活動などによって観光誘客を図り、地域の活性化に資することを目的とする。

本市としては、観光振興を進める好機と捉え、官民連携による観光の仕組みづくり、名物商品の開発、市民の観光への意識向上など、DCを通じて「観光によるまちづくり」を進める。

### 2. プレDCと本DCの取り組み

○平成29年4月～6月 プレDC（入込数1,751千人）

平成30年春のDCに向け、新しいイベントや試行的な取り組みを行うとともに、各種キャンペーンなど、魅力ある観光資源を効果的にPRし、市民の機運を高める。

【プレDCの具体的な取り組みと成果】

取り組み内容	成果
朝摘みスカイベリー	本DCに向け新しいイベントを開発
春のスイーツ&パンフェスタ in とちぎ	
うずま川行灯まつり	魅力ある観光資源を効果的にPR
県南地域文化財特別公開	県南地域の共通資源である文化財をつなぎ、回遊性の向上

○平成30年4月～6月 本DC（入込数1,785千人）

魅力ある商品の提供や集中的にイベントを実施する。また、おもてなしによる観光客の満足度向上と観光リピーターの確保を目指す。

【本DCの具体的な取り組みと成果】

取り組み内容	成果
屋形船で楽しむ蔵の街	新たな観光資源の掘り起こし・磨き上げ・滞在時間の延長
小江戸夜桜まつり～出張江戸料理茶屋～	
春のスイーツ&パンフェスタ in とちぎ	事業者間の連携強化、スイーツやパンによる女性観光客の増加
県南地域文化財特別公開	県南地域の回遊性の向上、自治体間の連携
栃木市観光ボランティア協会による「えきなか観光案内所」	各団体の自主的な活動によるおもてなしの向上

### 3. アフターDC（平成31年4月から6月）

このDCを契機に多くの成果や反省点を得ることができたので、今後それをDCレガシーとして活用していく。また、何度も本市を訪れていただけるよう、観光素材の定着化、観光地としての地位およびおもてなしの向上を目指す。

#### 《観光素材の定着化を図る》

小江戸夜桜まつり

⇒桜の名所百選に選ばれる太平山で、灯りに照らされる桜を眺めながら、太平山3大名物を楽しめる。

#### 《観光地としての地位向上を目指す》

とちぎ山車まつり～春の陣～

⇒春の蔵の街に江戸型人形山車が揃い踏み！普段、秋にしか見ることができない江戸型人形山車や祭囃子を、広くなった山車会館前広場で楽しむ。

#### 《おもてなしの向上》

えきなか観光案内

⇒GW期間中には栃木駅構内へ「えきなか観光案内所」を設け、常設の栃木駅観光案内所と連携し、お客様に対し観光案内を行う。

《アフターDCの取り組み内容：別紙参照》

### 4. 今後の展望

市民の皆さんとともに、栃木市の総合力で行う「魅力の発掘・磨き上げ」「戦略的な情報発信」「受け入れ態勢の充実」を図り、一過性のものでなく継続して行える仕組みづくりや官民一体となった体制を築き、「観光によるまちづくり」の推進を目指す。

本市では、アフターDCでの取り組みを十分に検証し、DCをきっかけに得た様々なノウハウ等「DCレガシー」を今後の観光推進に活かし、東京オリンピック・パラリンピック、いちご一会とちぎ国体へとつなげていきたい。

#### 【問合せ先】

産業振興部 観光振興課

担当：川村・野尻

TEL 0282-21-2373

## ▼H31. 4月～6月アフターデスティネーションキャンペーン期間における栃木市の取組み（企画一覧）

## 〈イベント関係〉

No.	実施主体		イベント名・素材名	開催日	内容
	区分	名称			
1	団体	蔵の街遊覧船	屋形船で楽しむ蔵の街	4.1～6.30	DC期間限定で、総檜造の屋形船に遊覧船と同じ700円で乗船（人数限定）
2	団体	蔵の街遊覧船	うずま川行灯まつり	6.1～8.31	DCの開催に合わせ1ヶ月前倒しで行灯(100以上)を巴波川に設置。行灯には栃木市ゆかりの切り絵作家による作品が施される。
3	民間	道の駅にしかた	真上(まがみ)の梅収穫体験ツアー	6月上旬	とちぎ小江戸ブランド品である、香り豊かな「真上の梅」収穫と「カリカリ梅作り体験」。
4	民間	いわふねフルーツパーク	朝摘みいちご (とちおとめ&スカイベリー)	4月（要確認）	朝収穫の1番おいしい状態のいちごを楽しめるよう開始時間を早めて案内。DC期間限定のミニジェラート引換券付き。
5	個人	「からくり屋」山本弘	江戸からくり人形の実演	4月～6月 第3日曜日ほか	「からくり人形師」半屋弘蔵氏による江戸からくり人形（茶運び人形、段返り人形等）の実演。
6	実行委員会	太平山桜まつり実行委員会	小江戸夜桜まつり	3.29～4.7	桜の名所百選に選ばれる太平山で、灯りに照らされる桜を眺めながら、太平山3大名物を楽しめる。
7	実行委員会	とちぎ秋まつり実行委員会	とちぎ山車まつり ～春の陣～	5.1～5.2	春の蔵の街に江戸型人形山車が揃い踏み！普段、秋にしか見ることができない江戸型人形山車や祭囃子を、広くなったとちぎ山車会館前広場で楽しめる。
8	実行委員会	小江戸とちぎ人形まつり実行委員会	人形まつり	5.5～5.6	こどもの健康と立身出世を祝う鯉のぼりくぐりや鯉のぼり塗り絵等をメインに、家庭で大切にしていた人形を預かり供養をする「人形供養」も行う恒例イベント。
9	観光協会	栃木市観光協会都賀支部	つがの里ハスマつり	6.15～6.16	初夏に幻想的で美しいハスを堪能。ハスの池を埋め尽くす、約1,000株3,000本のハスの花は圧巻。
10	協議会	とちぎ渡良瀬いちごフルーツ街道推進協議会	いちご・フルーツ街道スタンプラリーwithアフターDC	4～6月	いちご狩りができる観光農園や道の駅など、いちご・フルーツ街道の施設を巡るスタンプラリーを実施。スタンプを集めて街道賞品ゲット！
11	行政	とちぎ蔵の街美術館	春の特別企画展 「田村セツコのHAPPYがいっぱい！」	4.27～8.4	田村セツコ（イラストレーター）の長きにわたる活動を紹介。多彩な作品を通してハッピーな気持ちになれる展覧会。
12	県南	「本物の出会い 栃木」DC実行委員会 企画会議県南地域分科会	歴コレ2019 ～とちぎ県南地域歴史文化財コレクション～	4.1～6.30	アフターDC期間に県南エリアでの各市町で、歴コレカードを配布。カードを集めながら、文化財を満喫。
13	行政	とちぎ花センター	ヒスイカズラフェスタ ローズフェスタ	3.16～5.6 5.11～6.9	関東最大級を誇る大温室で咲くヒスイ色に輝く「ヒスイカズラ」は一見の価値あり！5月からはバラも見頃を迎え、期間中はコンサートや体験教室なども開催。
14	行政	とちぎ花センター	ホタルまつり	6.1～6.2	初夏のドームはホタルがいっぱい。ホタルが生み出す幻想的な光の明滅をご覧あれ。
15		東武鉄道	東武宇都宮線フリー乗車DAY	6.15	6月15日の栃木県民の日にあわせて、東武宇都宮線では栃木駅～東武宇都宮駅間が一日無料になる乗車券を東武宇都宮線の各駅で配布！

## 〈おもてなしに関する取組み〉

No.	実施主体		内容
	区分	団体名	
1	団体	栃木市観光ボランティア協会	GW期間中には栃木駅構内へ「えきなか観光案内所」を設け、常設の栃木駅観光案内所と連携し、お客様に対し観光案内を行う。
2	団体	栃木市商店会連合会	会員の各店舗に観光パンフレットを配置し、お客様への道案内、観光案内を積極的に実施。

## 『とちぎ山車まつり～春の陣～』 企画概要

## 主 旨

とちぎ秋まつりは、明治7年（1874年）、県庁構内で行われた神武祭典に山車を繰り出し祝ったことに始まる。北関東有数の商都として栄えた昔から今日まで、市制施行などの祝賀行事として、各町内が競って山車を出御しその時々の街の繁栄と喜びを祝ってきた。まつりに繰り出される各町内の絢爛豪華な人形山車の勇姿は、見る人々の心をおどらせ昔日の匠の技の素晴らしさを今に伝えている。

このたび、本年5月の新元号施行を祝し、栃木市の明るい未来と発展への願いと、とちぎ秋まつりのPRを目的に、拡張されたとちぎ山車会館前広場を会場に、山車や獅子頭を一堂に展示並びにお囃子の演奏等を行う、とちぎ山車まつり～春の陣～を開催する。

主 催 とちぎ秋まつり実行委員会

日 時 2019年5月1日（水）、2日（木） 10:00～16:00 雨天決行  
※雨天時及び夜間は、山車を山車会館バックヤードに格納可能（諫鼓鶏は山車会館エントランス）

会 場 とちぎ山車会館前広場他

内 容 ・江戸型人形山車 ・獅子頭の展示  
・お囃子の演奏  
・江戸料理茶屋、栃っ子茶屋への出店、からくり人形実演等  
※臨時駐車場に、警察署跡地、栃木中央小学校校庭を使用。

予 算 とちぎ秋まつり実行委員会より捻出

## 会場レイアウト（案）

